



2月 きりんぐみだより

常磐保育園 令和6年1月31日
4歳児担任 橋本美紀 大森聖加

グループで温泉作り！！

グループで数回に分けて温泉作りをしました。一人で進めていく製作とは違い、自分のやりたい思いだけでなく、グループの子がどう考えているか、どうしたいかを知ることにも必要になってきます。温泉の名前を決めるとき、最初は、「〇〇がいい」、「〇〇にしよう」と自分の思いを話すだけだったのが、「〇〇くんは何がいい?」、「私は〇〇がいいんだけどどうかな?」と会話の内容がかわってきたように思います。石作りでも、「あと〇個いるよ」、「ぼくがここ作るわ」、「テープ持ってくるね」とグループで作っていく中で、自然と会話が出てきたり、役割分担ができたりしていきました。温泉の名前にちなんだ絵を描くときには、グループ製作にも慣れてきて、「〇〇描こう」、「あとは何がいいかな?」と、友だちと一緒にする製作活動を楽しむことができました。

集団遊びたのしいね！

ちょっとした時間があると「みんなでなんかしたいな」、「今日はみんなで鬼ごっこやれそう?」と話してくれる子どもたち。ルールのある遊びをルールを理解して守って遊ぶことの楽しさをより一層感じているようです。戸外では友だちを誘い合って転がしドッチをする姿もみられるようになりました。また、くまぐみさんが遊んでいるドッチボールに興味を持ち始めているので、ルールを確認していきながらみんなでやってみたいなあと思っています。室内でも、新しい集団遊びも楽しめたらと思っています。

☆発表会に向けて☆

きりんぐみの生活発表会は「さるかにがっせん」をします。歌は「にじのむこうに」を歌います。「ドキドキする」と早くから緊張感を感じている子もいました。繰り返しの取り組みの中で、歌やセリフ、動きを覚え、自信をもって安心して当日が迎えられるようにしていきたいと思っています。役が決まり、取り組みをする中で、「こうしたほうがいいんじゃない?」、「こんな風にするのはどう?」とアイデアを出してくれる子どもたち。子どものやりたい、やってみたいを実現できるように取り入れ、一緒に劇を作っていけたらと思います。



- ◎感染症の予防のために必要なことを丁寧に行い、健康に気をつけて過ごすことができる
- ◎発表会に向けて、友だちと共通の目的をもって活動に取り組み、充実感や達成感を味わうことができる。
- ◎自分の意思を伝え、人の話も最後まで聞こうとすることができる。